

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
① 事務事業の見直し	①施設利用の向上 ②販売促進活動の年間計画の立案 (宿泊部門の売上向上, 料理開発, 人的・物的サービスの向上) ③平日利用客をターゲットにした利用特典を企画 ④空室を積極的に売る方法の研究 ⑤団塊世代の退職に向けた商品の研究開発, いむた池オンリーワンの提供 ⑥ラムサール条約の国内登録地を訪れるエコツアーの促進 ⑦当施設の「名物料理の創作」を目指す ⑧スポーツ・キャンプ等の誘致, 合宿参加団体へのPR活動 ⑨インターネット, DM, ガイドブック等の充実 ⑩結婚披露宴の利用増	①～⑥ ・熊本県老連との利用契約 ・大分観光等バス会社へセールス ・ブライダル業者との意見交換 ・平日の得々プラン実施 ⑦ ・地元ならではの食材を使った新作料理「猪・鹿・鳥鍋料理」を開発, 実施中 1月～3月利用者575名(H19) ・甌島直送キビナゴ料理を実施中 ⑧ ・鹿児島市内老人クラブへのDM ・いむた池独自のQRコード登録誘客件数拡大を継続中(アクセス数133回) ⑨ ・案内チラシの作成(老人会パック・同窓会パック) ⑩ ・100年杉の館での人前式においてMBC・南日本新聞社に取材放映	上期 ①施設及び周辺の計画的な環境整備による利用向上 ②～⑥ ・客数・売上げ目標に対する職員意識の改革 ・空室利用をターゲットにした売り込み ・同窓会企画の売り込み ⑦更なるオリジナル料理開発 ⑧団体の受入れ誘致セールスの継続 ⑨ホームページの定期的な更新, QRコード・DMの継続, 案内リーフレットの作成 ⑩結婚披露宴利用PR	①施設周辺・プールサイド・客室窓ふき・害虫駆除の計画的な実施(月1回)特に客室窓ふき・害虫駆除(月2回以上実施) ・修繕計画を作成した(実施に当たっては市と協議が必要) ②～⑥ ・職員会議(毎月1回)にて売上げ目標を設定し, 従業員へ周知し意識させるための取り組み実施中。 ・空室利用をターゲットにした得々プラン売り込み(DM・サンキューレター) ・30周年特別企画の新設 ・同窓会企画の売り込み(過去3年利用客にDM発送) ⑦夏場以降に向けた焼しゃぶ料理導入 ⑧修学旅行生の受入れ誘致セールスを宮崎市(トラベルジャパン)へ実施。今のところ予約は入っていない。 ⑨ホームページアクセス 4月1205件・5月1241件・6月・1309件 7月1273件・8月1445件 (やどかり予約) 4月18件・5月18件・6月・11件・7月8件 8月8件 ・QRコード・DM(②～⑥)の継続実施 ・案内リーフレットの作成(得々プラン・30周年特別企画等) ⑩結婚披露宴後改めて親族へお礼と兼ねて結婚披露宴利用のPR実施(2件)
			下期 ①施設及び周辺の計画的な環境整備による利用向上 ②～⑥ ・客数・売上げ目標に対する職員意識の改革 ・空室利用をターゲットにした売り込み ・同窓会企画の売り込み ⑦更なるオリジナル料理開発 ⑧団体の受入れ誘致セールスの継続 ⑨ホームページの定期的な更新, QRコード・DMの継続, 案内リーフレットの作成 ⑩結婚披露宴利用PR	①施設周辺・客室窓ふき・害虫駆除の計画的な実施 ②～⑥ ・職員会議(毎月1回)にて売上げ目標を設定し, 従業員へ周知し意識させるための取り組み実施中。 ・空室利用をターゲットにした得々プラン売り込み(DM・サンキューレター) ・30周年特別企画の実施 ・同窓会企画の売り込み ⑦夏場以降に向けた焼しゃぶ料理導入 ⑧修学旅行生の受入れ誘致セールスを宮崎市(トラベルジャパン)へ実施。 ⑨ホームページアクセス 10月163件・11月1097件・12月751件 1月1054件・2月992件・3月1326件 (やどかり予約) 10月12件・11月5件・12月9件・1月8件 2月3件 ・QRコード・DM(②～⑥)の継続実施 ・案内リーフレットの作成(得々プラン・30周年特別企画等) ⑩結婚披露宴利用の打合せ(11月頃1件)

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
② 財政の健全化	①料金、使用料等の利用者負担のあり方や金額の見直し ②ITを活用した業務効率化による経費削減 ③事業方針や組織・定員等の計画と併せた人件費の適正化	①木山会計事務所からの派遣による業務効率化で人件費減(IT使用) ・重油・プロパン納品入札 ・職員への節電・節水意識の徹底 ・宿泊料金等平成20年1月より新料金表へ変更 ・ANA・たびえーるの参入 ② ・光熱水費等の使用料記録と点検 ・機器類の修理記録記入 ③遅番時の変則時間徹底(徹底の方法など検討)	上期 ①料金・使用料の利用者負担のあり方や金額の見直しを20年度実施したので推移を検証する ②機械類のメンテナンス点検及び更新計画の作成	①上期のお客様アンケート内容では宿泊料金が高いと言う声は少なく満足度を更に重視して取り組む体制で継続中 ② ・光熱水費等の使用料記録と点検 ・機械類の修理記録記入
			下期 ①料金・使用料の利用者負担のあり方や金額の見直しを20年度実施したので推移を検証する ②機械類のメンテナンス点検及び更新計画の作成	①満足度を更に重視して取り組む体制で継続中 ② ・光熱水費等の使用料記録と点検 ・機械類の修理記録記入
③ 組織の見直し・職員配置・定員管理の適正化	①役員数、職員数の見直し(職員適正化計画の作成、課の統合、外部委託) ②事業推進の強化のため有資格者の育成(ボイラー免許・大型運転免許取得)	①外部委託を継続中(ボイラー免許・大型運転免許所持者) エフワン・ワークス等人材派遣の外部委託実施 ・神村学園等から新卒者2名を内定 ・新組織体制で運営できるよう検討 ②危険物取扱者免状取得	上期 ① ・幹部会の開催 ・各セクションの業務確認の徹底とデーターの整理 ・報告・連絡・相談及び指揮命令の徹底 ②有資格者の育成(ボイラー免許・運転免許) ③組織体制の見直し	① ・幹部会月1回(緊急会議随時)実施 ・各セクションごとに分けた業務計画表の作成 ・お客様アンケートは理事長まで回覧するシステムを実施中。 ・台風及び災害時には幹部が宿直体制を指揮をとり実施 ②管理課職員へ危険物取扱いの講習(5・6月2回)と試験(6月)を受けさせた。 ③幹部会議の中で総務部門等各セクションの人材確保等見直しについて検討中。
			下期 ① ・幹部会の開催 ・各セクションの業務確認の徹底とデーターの整理 ・報告・連絡・相談及び指揮命令の徹底 ②有資格者の育成(ボイラー免許・運転免許) ③組織体制の見直し	① ・幹部会月1回(緊急会議随時)実施 ・各セクションごとに分けた業務計画表の作成 ・お客様アンケートは理事長まで回覧するシステムを実施中。 ・災害時には幹部が宿直体制を指揮をとり実施。 ②来年度も管理課職員へ危険物取扱いの講習・試験を検討。 ③幹部会議の中で総務部門等各セクションの人材確保等見直しについて検討中。
④ 人事制度の確立	1 新たなる人事給与制度の検討 ①業態・業績に応じた人事給与制度の確立 ②業務目標の設定 ③運営に支障が生じた場合の昇給停止、給料削減(55歳以上職員の給料削減は実施済) 2 職員の人材育成計画及び必要な研修の実施	1 新たなる人事給与制度の検討 ①市の給与体系を参考に財団の俸給表改定 ②売上状況に応じた賞与支給の実施 2 接遇研修等への積極的参加 ・3月にサービスマナーについて講習・講話を実施 ・接遇研修は各セクションの長により各セクション毎に実施	上期 ①職員の人材育成及び研修の実施	①普通救命講習会に2名受講させた ・社内での接遇研修等は実施できなかった。
			下期 ①職員の人材育成及び研修の実施	①かごしま観光人材育成塾に1名受講させた。 ・社内での接遇研修等は実施できなかった。

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
⑤ 経営状況の点検, 評価	①第三者機関による外部評価, 専門家による経営診断 ②業務評価の仕組みの検討 ③営業指標や毎年の経営評価による成果目標の設定	① ・商工会議所又は商工会等からの経営診断の継続 ・税理士による経理点検実施	上期 ①税理士による経理点検 ② ・営業指標や実績の点検と経営対策会議の実施 ・実績及び見通し分析による成果目標の設定	①税理士による経理点検実施(月1回) ②従業員の業務評価は, 幹部会の中で議題となるが仕組みづくりまでは至っていない。 ・幹部会で作成した目標(毎月設定)を張り出し, 従業員へ喚起している。 ・毎月の利用人員及び収入実績を職員へ周知。
			下期 ①税理士による経理点検 ② ・営業指標や実績の点検と経営対策会議の実施 ・実績及び見通し分析による成果目標の設定	①税理士による経理点検実施(月1回) ②従業員の業務評価は, 幹部会の中で議題となるが仕組みづくりまでは至っていない。 ・幹部会で作成した目標(毎月設定)を張り出し, 従業員へ喚起している。 ・毎月の利用人員及び収入実績を職員へ周知。
⑥ 経営情報等の公表, 情報保護対策	①市, 財団のホームページによる財務諸表, 事業内容, 事業計画案の公表 ②個人情報保護法に準じた個人情報の保護, 適正な取得, 管理体制の整備	①ホームページによる財務諸表の公表 ②個人情報の管理保護	上期 ①財団のホームページによる財務諸表等公表の継続 ②顧客名簿等の適正な管理の継続	①継続実施 ②継続実施
			下期 ①財団のホームページによる財務諸表等公表の継続 ②顧客名簿等の適正な管理の継続	①継続実施 ②継続実施
上期総括	100年に1度と言われる不況の中, 昨年同様の利用客数を目標に取り組んだが, 前年度同期に及ぶことが出来なかった。内部の雇用確保や組織の見直しなど検討する課題も多く, 上期の不足分も合わせ下期へ引き継いでいくこととなった。			
下期総括	上期の利用客減を取り戻す為, 下期も30周年プラン企画等を作成し取り組んだが料理・サービス面の不評波紋が大きく, 売り上げも激減し経営改革プランに集中できなかった。平成22年度は意識改革を中心に取り組む。			